

2023年度 基本方針・事業計画

持続可能なまちづくり委員会

【基本方針】

委員長 中村 勇騎

(ミッション) 持続可能なまちづくりのために、移住・定住の推進及び若い世代へ未来のまちづくりの在り方を伝える。

我が国の総人口は2008年をピークに減少に転じており、柏崎の人口も1995年を境に現在まで人口減少を続けております。近年10年の間では柏崎の人口は年間約1000人の人口が減っているというデータが出ており、このまま人口減少が加速すれば人材は不足し産業は衰退、伝統行事の担い手がなくなれば花火やお祭りは縮小する可能性もあります。また今後超高齢化社会を迎えるにあたり医療・福祉分野においては働き手が減れば逼迫する事が考えられるため、今後のまちの方向性として移住者の促進及び人口が減少してもまちとして機能していくための仕組み作りを民間・行政一体となって検討していく段階に入っていると考えます。

柏崎刈羽地域は海、山、川など四季折々の自然に恵まれており、“魅力あふれる自然”や夏の花火大会やぎおん祭り、えんま市など市民の皆様が毎年楽しみとしている“伝統的な文化”、製造業を中心としたモノづくり産業など“地域の特色を活かした仕事”といった多種多様な文化や仕事があふれる魅力的な部分もある中、それが移住対象者へ周知されていないのが現状です。

そのため当委員会では移住問題に関して、現在地方移住を検討している移住対象者との接点を築けるような場の提供ないし、自然や文化、産業といった柏崎の魅力を市外及び県外在住者まで発信し、移住者促進に貢献して参ります。

しかし全国的な人口減少及び柏崎市の人口減少を回避する事は難しい問題です。当委員会では政府が提唱しているWeb空間と現実空間を高度に融合させた理想の社会“Society 5.0”を推奨し、未来の地方を見据えた超スマート社会実現のために学習及び理解を深める場を提供いたします。またこれからの柏崎を作り上げる次世代の若い世代へまちづくりに対する考え方や、知識を伝えていく事で、未来の柏崎刈羽へ貢献して参ります。

当委員会は次世代の洗練された都市を目指して、移住・定住問題に向き合って参ります。

・担当例会(5月)

柏崎刈羽の人口減少の現状と行政が考える今後の方針について理解し、人口減少緩和の具体的な施策を検討する。

・担当例会(11月)

次世代の洗練された都市構築の準備として、今後の政府の方針を理解・学習する場を設ける。

・職業講話(通年)